

Die Fledermaus あらすじ&メイスト

ある仮装舞踏会の帰り。銀行家アイゼンシュタインは酔っぱらった友人ファルケ博士を森に置き去りにして帰宅する。翌日、明るくなつた時間にファルケは帰宅することとなるが、「こうもり」に扮した姿であったことから、周りから「こうもり博士」と呼ばれ屈辱を味わう。ファルケは、自分のことを置き去りにしたアイゼンシュタインにいつか復讐しようと思いつく。

3年後の大晦日、公務員を侮辱した罪で刑務所に入れられる事になったアイゼンシュタインは、ファルケの誘いで、妻ロザリンデに内緒でオルロフスキーパークの夜会に出掛ける。一方、ロザリンデは夫が留守にすることをいいことに、かつての恋人アルフレードと密会する。そこに刑務所長フランクが現れ、アルフレードを夫と間違えて連行してしまう。

夜会にやって来たアイゼンシュタインはルナール侯爵を名乗り、一方ロザリンデは仮面をつけてハンガリーの貴婦人として登場。アイゼンシュタインは妻と知らずに彼女を口説いてしまう。ロザリンデは、密会の証拠としてアイゼンシュタインの時計を取り上げる。

翌日、アイゼンシュタインは刑務所に出頭するが、自分の代わりに別人が捕らえられている事に驚く。そこへロザリンデが現れ、アルフレードとの浮気がばれる。しかし、ロザリンデは、昨夜アイゼンシュタインから取り上げた時計を出して、夫を問い合わせる。

しかし全ではファルケ博士が仕組んだ芝居と判明。「すべてはシャンパンのせい」と丸く収まる。

演出 Production

中村 敬一

by KIMURA



General manager

総監督 阿部 容子



Conductor

指揮 森口 真司

舞踏会の参加者

